

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立多治見北高等学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和3年6月11日(金) 14:00~16:00
- 3 開催場所 多治見北高等学校会議室
- 4 参加者

会長	水野 知久	東濃子ども相談センター所長	
副会長	小林 雄一	愛知工業大学教授	(ご欠席)
委員	池田 恵子	地域住民、元PTA役員	
	近藤 重利	地域住民、自営業者	
	柴田 真奈美	多治見市職員、元PTA役員	
	渡邊 雅子	PTA副会長	
学校側	小栗 英幸	校長	
	後藤 憲人	事務部長	
	伊左治 錦司	教頭	
	二村 文敏	教頭	
	市川 学	教務主任	
	岩三 大介	生徒指導主事	
	前川 泰信	進路指導主事	

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校運営協議会の設立趣旨説明及び会長、副会長の選出
- (2) 今年度の学校運営について(校長による説明)
- (3) 今年度の具体的取組について(教務、生徒指導、進路指導担当者より説明)
- (4) 授業参観と校内視察
- (5) 意見交換及び協議

意見1: 新鮮な気持ちで授業を見た。多くの授業でICT機器が利用されていた。新しいものを使い始めるには苦勞もあると思う。仕事柄思うことだが、新しい職員を迎えるとき、一人一人に大きな差がある。自分で考えることができる人は使える。指示待ち、新しいことへの応用が苦手な人もいる。自分の力で考えて動ける自立した生徒を育ててほしい。

意見2: 自分でどう行動すべきか考えることは、進路を考える時も同じだ。大学に入ることがゴールではない。その先のことも考えることが大切だ。人から言われたことをやるのではなく、自分でどうしたいか考えていくことが大事。最近の生徒は、デジタル機器等の扱いが得意かもしれないが、予測できないことが起きた時にも対応できる力を育てなくてはならない。

意見3: 市内では女子生徒のブレザー、パンツ姿が増えてきた。新しい時代の流れを感じる。多治見北高校ではどう考えているか。

⇒ 昨年度からスカートとスラックスを選べるようにしている。浸透するまでに時間がかかるかもしれないが、生徒は制度をうまく活用している。

意見4： 授業に集中している。まじめな子が多い印象。以前と比べ、最近の生徒の方が授業に向かう意識が高いと思う。北高生は、良い意味でいつも勉強している印象がある。こういった雰囲気が個々の進路実現につながっている。

意見5： 生徒指導主事の「人に迷惑をかけない」という話が良かった。コロナ禍の現在においても、人のことを考えない世界的な風潮はある。少しでも他者を思い行動できる生徒を育ててほしい。

意見6： コロナ禍がまさか1年たっても続いているとは思ってもしなかった。つらい状況だが、学校からの説明で、生徒会の生徒たちの中に自分たちで何とかしようとする動きがあると聞いてうれしかった。

意見7： 話には聞いていたが、今日参加してコロナ禍での学校のイメージが実感できた。休校時はオンラインの学習支援がいち早く開始され安心できた。昨年の文化祭でも生徒の行事を実現させたいという教員の思いが感じられた。生徒も得意分野を生かして活躍できたようだ。修学旅行について、生徒たちはあきらめていたようだが、「旅行のことは何とかしたい」「だから今できることを頑張ろう」と励ましてくれたこと等、うれしく思っている。

意見8： ICT活用への対応、授業改善への取組みに忙しい教員にとって授業開始前の準備時間は貴重だ。生徒への教育指導の質を保つ上で登校時の交通安全指導等時間外の業務軽減への対策が必要である。

(6) スクールポリシーの策定及び第2回学校運営協議会について（学校からの説明と確認）

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、「自立できる生徒を育ててほしい」という意見が多く委員より寄せられ、その具現を目指す本校の教育目標の承認が得られた。

会議では、授業へのICTの積極的な活用や生徒指導方針に対して、委員からは好意的な意見が多く寄せられた。